安全データシート

Agilent Technologies

pBluescript II KS(+) Phagemid, Part Number 212207

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : pBluescript II KS(+) Phagemid, Part Number 212207

品番（化学検査キット） : 212207

部品番号 : XL1-Blue MRF' E.coli Strain 200301-81
pBluescript II KS (+) Phagemid 212207-51

供給者/ 製造者 : 会社名 アジレント・テクノロジー株式会社

住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

電話番号 +81-42-660-3111

緊急連絡電話番号（受付時間） : CHEMTREC®: +(81)-345209637

化学製品の推奨される用途 : 分析試薬。
XL1-Blue MRF' E.coli Strain 0.5 ml
pBluescript II KS (+) Phagemid 0.02 ml (20 μg 1 μg/μl)

使用上の制限 : 情報なし。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

XL1-Blue MRF' E.coli Strain

H320 眼刺激性 - 区分2B

GHS ラベル要素

注意喚起語 : XL1-Blue MRF' E.coli Strain 警告
pBluescript II KS (+) Phagemid 注意喚起語なし。

危険有害性情報 : XL1-Blue MRF' E.coli Strain H320 - 眼刺激
pBluescript II KS (+) Phagemid 重大な作用や危険有害性は知られていない。

注意書き

安全対策 : XL1-Blue MRF' E.coli Strain P264 - 取扱い後はよく洗うこと。
pBluescript II KS (+) Phagemid 該当しない

応急措置 : XL1-Blue MRF' E.coli Strain P305 + P351 + P338 - 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313 - 眼の刺激が続く場合: 医師の診察又は手当てを受けること。
pBluescript II KS (+) Phagemid 該当しない

保管 : XL1-Blue MRF' E.coli Strain 該当しない
pBluescript II KS (+) Phagemid 該当しない

廃棄 : XL1-Blue MRF' E.coli Strain 該当しない
pBluescript II KS (+) Phagemid 該当しない

補足的なラベル要素 : XL1-Blue MRF' E.coli Strain 認知済みのものは無し。
pBluescript II KS (+) Phagemid 認知済みのものは無し。

その他の危険有害性 : XL1-Blue MRF' E.coli Strain 認知済みのものは無し。
pBluescript II KS (+) Phagemid 認知済みのものは無し。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : XL1-Blue MRF' E.coli Strain 混合物
pBluescript II KS (+) Phagemid 混合物

化学名又は一般名	含有量(%)	CAS登録番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
XL1-Blue MRF' E.coli Strain				
グリセリン	≥10 - ≤20	56-81-5	2-242	(2)-242

4. 応急措置

吸入した場合	: XL1-Blue MRF' E.coli Strain	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。 救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。 健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。 意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。 気道を開いた状態に維持する。 襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。
	pBluescript II KS (+) Phagemid	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: XL1-Blue MRF' E.coli Strain	多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。 衣類は、再着用の前に洗濯する。 靴は再使用前に十分に洗浄する。
	pBluescript II KS (+) Phagemid	多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	: XL1-Blue MRF' E.coli Strain	すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 少なくとも10分間洗い流し続ける。 炎症がおさまらない場合、医師の診断を受ける。
	pBluescript II KS (+) Phagemid	すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	: XL1-Blue MRF' E.coli Strain	水で口を洗浄する。 入歯をしている場合ははずす。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。 健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。 意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。 意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。 気道を開いた状態に維持する。 襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。
	pBluescript II KS (+) Phagemid	水で口を洗浄する。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

予想される急性健康影響

吸入した場合	: XL1-Blue MRF' E.coli Strain	重大な作用や危険有害性は知られていない。
	pBluescript II KS (+) Phagemid	重大な作用や危険有害性は知られていない。
皮膚に付着した場合	: XL1-Blue MRF' E.coli Strain	重大な作用や危険有害性は知られていない。
	pBluescript II KS (+) Phagemid	重大な作用や危険有害性は知られていない。
眼に入った場合	: XL1-Blue MRF' E.coli Strain	眼刺激
	pBluescript II KS (+) Phagemid	重大な作用や危険有害性は知られていない。
飲み込んだ場合	: XL1-Blue MRF' E.coli Strain	重大な作用や危険有害性は知られていない。
	pBluescript II KS (+) Phagemid	重大な作用や危険有害性は知られていない。

過剰にばく露した場合の徴候症状

吸入した場合	: XL1-Blue MRF' E.coli Strain	特にデータは無い。
	pBluescript II KS (+) Phagemid	特にデータは無い。
皮膚に付着した場合	: XL1-Blue MRF' E.coli Strain	特にデータは無い。
	pBluescript II KS (+) Phagemid	特にデータは無い。
眼に入った場合	: XL1-Blue MRF' E.coli Strain	有害症状には以下の症状が含まれる: 刺激 流涙 充血
	pBluescript II KS (+) Phagemid	特にデータは無い。

4. 応急措置

飲み込んだ場合	: XL1-Blue MRF' E.coli Strain	特にデータは無い。
	pBluescript II KS (+) Phagemid	特にデータは無い。
応急処置をする者の保護	: XL1-Blue MRF' E.coli Strain	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。
	pBluescript II KS (+) Phagemid	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
医師に対する特別な注意事項	: XL1-Blue MRF' E.coli Strain	症状に対応した対処療法を行うこと。 大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。
	pBluescript II KS (+) Phagemid	症状に対応した対処療法を行うこと。 大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: XL1-Blue MRF' E.coli Strain	火災に応じた消火剤を使用する。
	pBluescript II KS (+) Phagemid	火災に応じた消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	: XL1-Blue MRF' E.coli Strain	認知済みのものは無し。
	pBluescript II KS (+) Phagemid	認知済みのものは無し。
特有の危険有害性	: XL1-Blue MRF' E.coli Strain	火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。
	pBluescript II KS (+) Phagemid	火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。
有害な熱分解生成物	: XL1-Blue MRF' E.coli Strain	分解生成物には以下の物質が含まれることがある: 二酸化炭素 一酸化炭素 ハロゲン化合物 金属酸化物
	pBluescript II KS (+) Phagemid	特にデータは無い。
特有の消火方法	: XL1-Blue MRF' E.coli Strain	火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
	pBluescript II KS (+) Phagemid	火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	: XL1-Blue MRF' E.coli Strain	消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。
	pBluescript II KS (+) Phagemid	消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について	: XL1-Blue MRF' E.coli Strain	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 蒸気や噴霧の吸入を避ける。 十分な換気を行う。 換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。 適切な個人保護装置を着用する。
	pBluescript II KS (+) Phagemid	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 適切な個人保護装置を着用する。

6. 漏出時の措置

緊急時対応要員について

: XL1-Blue MRF' E.coli Strain

流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

pBluescript II KS (+) Phagemid

流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項

: XL1-Blue MRF' E.coli Strain

漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

pBluescript II KS (+) Phagemid

漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

: XL1-Blue MRF' E.coli Strain

危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。 あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

pBluescript II KS (+) Phagemid

危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。 あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全取扱注意事項

: XL1-Blue MRF' E.coli Strain

適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。 摂取してはならない。 眼、皮膚および衣類に接触しないようにする。 蒸気や噴霧の吸入を避ける。 使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。 容器が空でも製品が残存し危険有害性があることがある。 容器を再利用してはならない。

pBluescript II KS (+) Phagemid

適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。

衛生対策

: XL1-Blue MRF' E.coli Strain

生物災害性物質である可能性がある。 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

pBluescript II KS (+) Phagemid

本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

安全な保管条件

: XL1-Blue MRF' E.coli Strain

現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

pBluescript II KS (+) Phagemid

現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクショ

7. 取扱い及び保管上の注意

ン10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 全体換気装置は作業者がばく露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

ばく露限界

なし。

生物学的暴露指数

曝露指標は知られていない。

保護具

呼吸用保護具 : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。 マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。

眼、顔面の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。 接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 側方シールド付の保護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。
この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

外観

物理状態 : XL1-Blue MRF' E.coli Strain 液体
pBluescript II KS (+) Phagemid 液体

色 : XL1-Blue MRF' E.coli Strain 情報なし。
pBluescript II KS (+) Phagemid 情報なし。

臭い : XL1-Blue MRF' E.coli Strain 情報なし。
pBluescript II KS (+) Phagemid 情報なし。

臭いのしきい値 : XL1-Blue MRF' E.coli Strain 情報なし。
pBluescript II KS (+) Phagemid 情報なし。

pH : XL1-Blue MRF' E.coli Strain 7
pBluescript II KS (+) Phagemid 7.5

融点／凝固点 : XL1-Blue MRF' E.coli Strain 情報なし。
pBluescript II KS (+) Phagemid 0℃ (32℉)

沸点又は初留点及び沸点範囲 : XL1-Blue MRF' E.coli Strain 情報なし。
pBluescript II KS (+) Phagemid 100℃ (212℉)

引火点 :

	密閉式			開放式		
化学名又は一般名	℃	℉	方法	℃	℉	方法
XL1-Blue MRF' E. coli Strain						
グリセリン	–	–	–	177	350.6	–

燃焼点 : XL1-Blue MRF' E.coli Strain 情報なし。
pBluescript II KS (+) Phagemid 情報なし。

蒸発速度 : XL1-Blue MRF' E.coli Strain 情報なし。
pBluescript II KS (+) Phagemid 情報なし。

可燃性 : XL1-Blue MRF' E.coli Strain 該当しない
pBluescript II KS (+) Phagemid 該当しない

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : XL1-Blue MRF' E.coli Strain 情報なし。
pBluescript II KS (+) Phagemid 情報なし。

9. 物理的及び化学的性質

蒸気圧 :

化学名又は一般名	20°Cの蒸気圧 mm Hg	20°Cの蒸気圧 kPa	20°Cの蒸気圧 方法	50°Cの蒸気圧 mm Hg	50°Cの蒸気圧 kPa	50°Cの蒸気圧 方法
XL1-Blue MRF' E. coli Strain						
水	17.5	2.3	-	92.258	12.3	-
グリセリン	0.000075	0.00001	-	0.0025	0.00033	-
pBluescript II KS (+) Phagemid						
水	17.5	2.3	-	92.258	12.3	-

相対ガス密度 :
XL1-Blue MRF' E.coli Strain 情報なし。
pBluescript II KS (+) Phagemid 情報なし。

相対密度 :
XL1-Blue MRF' E.coli Strain 情報なし。
pBluescript II KS (+) Phagemid 情報なし。

溶解度 :

メディア	結果
XL1-Blue MRF' E.coli Strain	
水	可溶性
pBluescript II KS (+) Phagemid	
水	可溶性

n-オクタノール／水分配係数 :
XL1-Blue MRF' E.coli Strain 該当しない
pBluescript II KS (+) Phagemid 該当しない

自然発火点 :

化学名又は一般名	℃	℉	方法
XL1-Blue MRF' E.coli Strain			
グリセリン	370	698	-

分解温度 :
XL1-Blue MRF' E.coli Strain 情報なし。
pBluescript II KS (+) Phagemid 情報なし。

粘度 :
XL1-Blue MRF' E.coli Strain 情報なし。
pBluescript II KS (+) Phagemid 情報なし。

粒子特性

中央粒径値 :
XL1-Blue MRF' E.coli Strain 該当しない
pBluescript II KS (+) Phagemid 該当しない

その他のデータ

追加情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性 :
XL1-Blue MRF' E.coli Strain この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
pBluescript II KS (+) Phagemid この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 :
XL1-Blue MRF' E.coli Strain 製品は安定である。
pBluescript II KS (+) Phagemid 製品は安定である。

危険有害反応可能性 :
XL1-Blue MRF' E.coli Strain 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
pBluescript II KS (+) Phagemid 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 :
XL1-Blue MRF' E.coli Strain 特にデータは無い。
pBluescript II KS (+) Phagemid 特にデータは無い。

混触危険物質 :
XL1-Blue MRF' E.coli Strain 酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。
pBluescript II KS (+) Phagemid 酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。

10. 安定性及び反応性

危険有害な分解生成物 : XL1-Blue MRF' E.coli Strain 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

pBluescript II KS (+) Phagemid 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	ばく露時間
XL1-Blue MRF' E.coli Strain グリセリン	LD50 経口	ラット	12600 mg/kg	-

急性毒性の推定

製品 / 成分の名称	経口 (mg/kg)	経皮 (mg/kg)	吸入 (気体) (ppm)	吸入 (蒸気) (mg/l)	吸入 (粉じん/ミスト) (mg/l)
XL1-Blue MRF' E.coli Strain XL1-Blue MRF' E.coli Strain グリセリン	300000.0 12600	N/A N/A	N/A N/A	N/A N/A	N/A N/A

刺激性/腐食性

製品 / 成分の名称	結果	種類	スコア	ばく露時間	観察
XL1-Blue MRF' E.coli Strain グリセリン	眼 - 軽度の刺激 皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ ウサギ	- -	24 時間 500 mg 24 時間 500 mg	- -

呼吸器感作/皮膚感作

情報なし。

生殖細胞変異原性

結論/要約 : 情報なし。

発がん性

結論/要約 : 情報なし。

生殖毒性

結論/要約 : 情報なし。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

情報なし。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

情報なし。

誤えん有害性

情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	ばく露時間
XL1-Blue MRF' E.coli Strain グリセリン	急性 LC50 54000 mg/l 真水	魚類 - Oncorhynchus mykiss	96 時間

残留性・分解性

12. 環境影響情報

製品 / 成分の名称	テスト	結果	投与量	植種源
XL1-Blue MRF' E.coli Strain グリセリン	301D Ready Biodegradability - Closed Bottle Test	93 含有量(%) - 30 日	-	-

生体蓄積性

製品 / 成分の名称	$LogP_{ow}$	BCF	可能性
XL1-Blue MRF' E.coli Strain グリセリン	-1.76	-	低

土壌中の移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。 不要な包装材料は再利用しなければならない。 焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

UN / IMDG / IATA : 規定なし。

使用者のための特別な予防措置 : **使用者の施設内での輸送**: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

15. 適用法令

消防法

カテゴリー	物質名／種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
XL1-Blue MRF' E.coli Strain 第四類危険物	以下を含む物質: 第三石油類 (水溶性)	III	火気厳禁	4000 L

消防活動阻害物質 : 非該当

労働安全衛生法

該当しない

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	状況	整理番号
pBluescript II KS (+) Phagemid エチレンジアミン四酢酸	優先評価化学物質	36

毒物及び劇物取締法

15. 適用法令

非該当

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR) - 2023年3月まで

非該当

化学物質排出把握管理促進法 - 2023年4月から

非該当

インベントリ リスト

日本 : **日本インベントリー(化審法既存及び新規公示化学物質)**: 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
日本インベントリー(ISHL): 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

米国 : すべての構成成分がアクティブか、または免除されます。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2023/12/27
前作成日 : 2020/11/10
バージョン : 7

略語の解説 :
ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA = 国際航空輸送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。(″Marpol″ = 海洋汚染)
N/A = データなし
UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
XL1-Blue MRF' E.coli Strain 眼刺激性 - 区分2B	算出方法

参照 : 情報なし。

前バージョンから変更された情報を指摘する。

注意事項

使用者への注意: このデーターシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。